

就勝就喝!

宮崎国際大学

宮崎国際大学(宮崎市)は建学の精神「礼節・勤労」を教育理念に据え「リベラルアーツ」教育を掲げる。国際教養学部比較文化学科と教育学部児童教育学科の2学部2学科の小規模ながら、幅広い業種に多彩な人材を送り込んでいる。副学長で国際教養学部教授の矢野健二キャリア教育センター長に聞いた。

◇ ◇

学生自ら将来像描き計画

今年3月卒業生の就職決定率は98%以上だ。1学年の定員は国際教養学部100人、教育学部50人。全学の学生在籍数は約600人と小規模だが、その分教職員が学生各自の顔や個性、将来の希望などを覚えられ、親身な指導ができる。

キャリア教育センター長
矢野 健二氏

両学部とも入学当初から3段階による支援を実施している。第1段階は学部の性格に対応した必修のキャリア形成支援科目だ。学生が自分の進みたい将来を思い描き、実現に向けて計画を立てることを目標にする。

第2段階は目指す職業に近づくための各種試験対策講座だ。1年生の時から受講できる。公務員試験対策講座、企業や官庁が採用している適性検査対策講座、競争倍率が高い航空業界向け就活対策講座などがある。第3段階は学生が希望する就職に向け役立つような、面接対策やインターンシップ(就業体験)報告会などの学内実践講座だ。

国際教養学部の授業はほとんど英語で行われ、次世代リーダーの育成を目指している。外国



対話式授業で英語力養成

人教員比率は約75%と高い。日々の授業で国際社会で通用する英語力を養う。2年生の海外研修は必須だ。「グローバル・リベラル・アーツ」「国際ビジネス・マネジメント」などの専門コースがある。

ホスピタリティ・観光マネジメントコースも2023年度に新設する予定だ。新型コロナウイルス感染拡大も落ち着き、旅行やホテル関連の観光業界の人材の需要は高まるとみている。大学で磨いた英語力と、少人数の対話式授業で養った国際的なコミュニケーション力が就職する上でプラスとなる。

教育学部は卒業後に小学校・幼稚園の先生になるという目標が1年時からはっきりしている。教員採用試験対策講座では採用選考試験に合格した4年生が、実際に使用した参考書のほか、自分なりの学習法を先輩に直接伝授する場面もある。具体的な学習方向を定める上で学生に好評だ。

(聞き手は 宮崎支局長 武内正直)

許諾番号30092143 日本経済新聞社が記事使用を許諾しています。

掲載日 2023年02月15日 日経産業新聞 011ページ © 日本経済新聞社 無断複製転載を禁止します。